

**平成30年度 北海道北見商業高等学校
学校評価について(自己評価及び学校関係者評価)**

《教職員評価》評価基準 4:十分 3:おおむね 2:やや不十分 1:不十分
100%に満たない部分:判断できないと答えたもの

①《教職員評価》

領域	評価項目	(%)				改善策
		4	3	2	1	
学校経営	生徒の実態や保護者、地域住民の願いを踏まえた学校教育目標を設定している。	-	90.0	10.0	-	・1間口減に係る教職員の減少に対応するため、分掌や各種委員会などの組織改編を図りながら学校運営の効率化を進める。
	学校の教育目標を具現化するという意識のもと、日常の教育活動を行っている。	-	80.0	20.0	-	・学年間で十分な連携が図れるよう、分掌等を通して連絡を密にするよう努める。
	学校運営の効率化などを図るために、学校の組織の改善を適切に行っている。	-	20.0	55.0	20.0	・教育活動の更なる充実とともに、入学希望者確保に向けホームページなど様々な機会を捉えて広報活動を行い、地域への周知に努める。
	学年相互の連携はもとより各学年分掌間で連携を十分に図り協働体制を構築している。	-	45.0	50.0	-	

※《学校関係者評価》

教職員評価の適切さ	3. 6	学校関係評価者の意見	良好である。
改善策の適切さ	3. 6		

②《教職員評価》

領域	評価項目	(%)				改善策
		4	3	2	1	
教務	教科内研修はもとより校内研修を計画的に実施し積極的に研修活動に取り組んでいる。	-	85.0	15.0	-	・人間としての在り方生き方については、日頃の生活における道徳教育や授業、進路活動、総合的な学習の時間などで機会を捉え、生徒が自分と向き合い、他者との関係や自分の役割を自覚できる場面を増やしていくかなくてはならない。
	学習指導要領の趣旨を踏まえて新しい時代に対応できる教育課程の編成を行っている。	-	95.0	5.0	-	・自主的に学ぶようになるには、目標や目的が必要である。そのためには、将来の夢を持たせなければならない。
	「人間としての在り方生き方」に関する教育を学校的教育活動全体を通じて行っている。	-	61.9	33.3	4.8	・教員がわかる授業を展開し、生徒に学ぶ機会と学ぶ喜びを与えることが必要である。教務としてできることは、そのために必要な情報を提供していくことと、そして、先生方への啓蒙活動である。
	生徒の実態に対応して基礎・基本の確実な定着を図るために工夫・改善に努めている	5.0	90.0	5.0	-	
	自主的な学習態度の確立に努め生徒に家庭学習に取り組ませる方策等を工夫している。	5.0	50.0	45.0	-	
	各教科・科目のシラバス・年間計画等を作成し、学習の目的や学習方法等を事前に生徒に適切に説明している。	4.8	95.2	-	-	
	授業評価等を実施するなどして、客観的な授業の分析を行い、授業改善に努めている。	-	55.0	45.0	-	

※《学校関係者評価》

教職員評価の適切さ	3. 6	学校関係評価者の意見	良好である。
改善策の適切さ	3. 6		

③《教職員評価》

(%)

領域	評価項目	4	3	2	1	改善策
生徒指導	服装指導・挨拶指導などが日常的に行われている。	-	52.4	42.9	4.8	・アンケートの結果から、服装頭髪の指導については不十分であったり、一部の先生が指導しているだけで全体のものにはなっていないという意見が散見される。我々教員側の生徒指導に対する意識改革と、共通理解、協同実践が必要である。そのために、最低限全員がやらなければならないことを確認し、全員で徹底してそのことに取り組んでいく組織作りを行っていく必要がある。その第一弾として、本校の生徒指導に関する資料（マニュアル的なもの）を作成、配布し、意識改革の一助とする。
	学校行事の企画・運営に当たっては、生徒一人ひとりの主体性を尊重するよう配慮している。	-	95.0	5.0	-	
	生徒理解を深めるための方策を適切に行い、全教職員で情報の共有を図り、きめ細かな生徒指導を行っている。	5.0	65.0	30.0	-	
	部活動への積極的な参加を促すとともに、学習と両立させる工夫や指導を行っている。	5.0	70.0	25.0	-	
	生徒会活動を通じて、自主・自律の精神を養うとともに、北商生の自覚や連帯感を育んでいる。	5.0	80.0	15.0	-	・部活動については、コンプライアンスを遵守するように、顧問会議等で確認する。

※《学校関係者評価》

教職員評価の適切さ	3. 6	学校関係評価者の意見	良好である。
改善策の適切さ	3. 4		

④《教職員評価》

(%)

領域	評価項目	4	3	2	1	改善策
進路指導	進路実現に向けて資格取得の機会を多く設け、学校全体で生徒への指導を行っている。	10.0	85.0	5.0	-	・進路実現に向けて、今後も商業科を中心として取り組んでいる検定取得に、学校全体でバッカアップしていきたい。
	生徒や保護者、地域住民の期待に応えて授業以外でも、充実した進路指導に努めている。	5.0	80.0	15.0	-	・充実した進路指導は、卒業生による進路講話、職業講話、進路保護者説明会、地域のじもと×しごと発見フェアなどの機会を継続して、生徒や保護者、地域住民の期待に応えていきたい。
	進路実現に係る様々な情報や資料の収集に努め、迅速かつ適切な情報提供を行っている。	5.0	80.0	15.0	-	・情報提供については、今後も教職員向けの研修会や生徒向けの職業説明会などを行い、情報提供に努めていきたい。
	インターンシップの推進に当たっては、学校体制を整えるとともに、地域との連携を図っている。	10.0	60.0	30.0	-	・インターンシップの推進にあたっては、生徒の実態に即した職業体験（インターンシップ）実施に向けて、学校体制を整えていきたい。

※《学校関係者評価》

教職員評価の適切さ	3. 6	学校関係評価者の意見	部活との両立は大変だったろうと思いますが、資格取得の機会が多くあつたこと、取得できたことは職業で生かせるか生かせないか分からぬが、取り組んだこと、学んだことはきっと将来の糧になると思います。
改善策の適切さ	3. 8		大卒を超える資格取得を目指してほしい。

⑤《教職員評価》

領域	評価項目	(%)				改善策
		4	3	2	1	
保健安全	勤労・奉仕活動をはじめ、校外のさまざまな活動への積極的な参加を働きかけ、教職員が率先して取り組んでいる。	5.0	65.0	30.0	-	・保健部では、花壇整備にボランティアを募集している。今後も継続をする。
	生徒が命の大切さを知り、健康で安全な生活が送れるように指導がなされている。	5.0	90.0	5.0	-	

※《学校関係者評価》

教職員評価の適切さ	3. 6	学校関係評価者の意見	校門前の花壇の整備されているのですね。送迎の時にいつもきれいだなと見て癒やされてました。
改善策の適切さ	3. 8		

⑥《教職員評価》

領域	評価項目	(%)				改善策
		4	3	2	1	
教育相談	教育相談は外部の諸機関との連携も含め組織的な協力体制のもとで進めている。	-	55.0	40.0	-	・いじめや悩みを相談できる場面が限られており、気軽に相談できる場が求められている。相談窓口の設置など対応を検討する。
	日常的に保護者と連携し、情報の共有に務めている。	-	68.4	31.6	-	
	生徒がいじめや様々な悩みを相談しやすい環境が整っている。	-	55.0	45.0	-	
	いじめの防止や早期発見について定期的に適切に取り組んでいる。	5.0	90.0	5.0	-	

※《学校関係者評価》

教職員評価の適切さ	3. 4	学校関係評価者の意見	生徒みんなが明るく楽しく通える学校を（先生方、職員さんの）良い行い、言葉を発することが好きになって「学校に行きたい」と思える学校を目指してほしいです。
改善策の適切さ	3. 4		

⑦《教職員評価》

領域	評価項目	(%)				改善策
		4	3	2	1	
その他 総務等	ホームページや各種通信などあらゆる機会をとおして情報の発信と共有化を図っている。	10.0	85.0	5.0	-	・ホームページについては、本校の教育活動を多くの方々に知っていただく重要なツールと考える。今後も掲載については、個人情報等を配慮しながら更新していく。 ・今年度、PTA活動では3学年の学年理事の方々の積極的な協力があり、学校祭でのバザーや役員会では大盛り上がりがあった。PTA総会や研修会の参加人数はほぼ例年通りであった。 ・同窓会につきましては40周年行事を通じて多少ながらも関係を持つことができた。 ・一斉送信メールは今年度から利用を始めた。緊急時、特にブラックアウトでは大変効果があった。今後、有効な活用方法を広げながら利用していきたい。
	PTA活動に積極的に関わり、生徒の活動を支援するための充実した活動となるよう努めている。	10.0	60.0	30.0	-	
	同窓会等の外部団体との連携を図り、生徒への様々な支援につなげている。	5.0	75.0	20.0	-	
	校内LANの適切な運用を図り、校内での情報機器等の適切な管理に努めている。	5.0	85.0	10.0	-	
	一斉送信メールを導入し、緊急時対応など、速やかな情報伝達に努めている。	15.0	80.0	5.0	-	

※《学校関係者評価》

教職員評価の適切さ	3. 6	学校関係評価者の意見	一斉送信メールは利用を始めたこと、良かったと思う。
改善策の適切さ	3. 6		参加できないこともあったが、PTA活動を通じて先生・役員さんたちと交流・情報なども得て参加して良かった。